

## 2023年 学校説明会&イベント

### 学校説明会

- 第4回 7月22日(土) 10:00~
- 第5回 8月27日(日) 10:00~  
同時開催「第1回 腕だめしテスト」
- 第6回 9月16日(土) 10:00~
- 第7回 10月22日(日) 10:00~  
同時開催「第2回 腕だめしテスト」
- 第8回 11月11日(土) 10:00~
- 第9回 12月9日(土) 10:00~  
説明会の中で「入試直前対策」を実施します

### 体験プログラム ※保護者様は同時開催の学校説明会に参加できます

#### 腕だめしテスト 対象:小6

- 第1回 8月27日(日) [2科]国・算 10:00~12:00  
[4科]国・算・理・社 9:00~12:00
- 第2回 10月22日(日) [2科]国・算 10:00~12:00  
[4科]国・算・理・社 9:00~12:00

#### 入試直前対策講座

12月9日(土) 10:00~

※学校説明会の中で実施いたしますので、保護者様もお子様と一緒に参加できます

#### 予約方法 完全予約制・定員制

各イベント実施2ヶ月前より本校ホームページからお申し込みください。

推奨 <https://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/jhs/>

各イベントの詳細は、本校HPでご確認ください

### 学校周辺マップ



#### アクセス

東武日光線 杉戸高野台駅西口から

- 徒歩15分
- スクールバス5分

JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅東口から

- スクールバス10分
- 自転車15分
- 路線バス5分 吉羽大橋バス停下車徒歩8分

東武伊勢崎線 和戸駅から

- 自転車8分



〒345-0044 埼玉県北葛飾郡杉戸町下野851 TEL:0480-34-3381 FAX:0480-34-1050  
<https://www.shohei.sugito.saitama.jp/contents/jhs/>



SHOHEI  
JUNIOR HIGH SCHOOL  
SCHOOL GUIDE 2024

昌平中学校

INTERNATIONAL BACCALAUREATE  
国際バカロレア [MYP] 認定校・[DPI] 認定校



手をかけ 鍛えて 送り出す



# 手をかけ 鍛えて 送り出す

子どもたち一人ひとりの未来の姿は、中高6年の間に大きく形づくられ彩りを得ます。

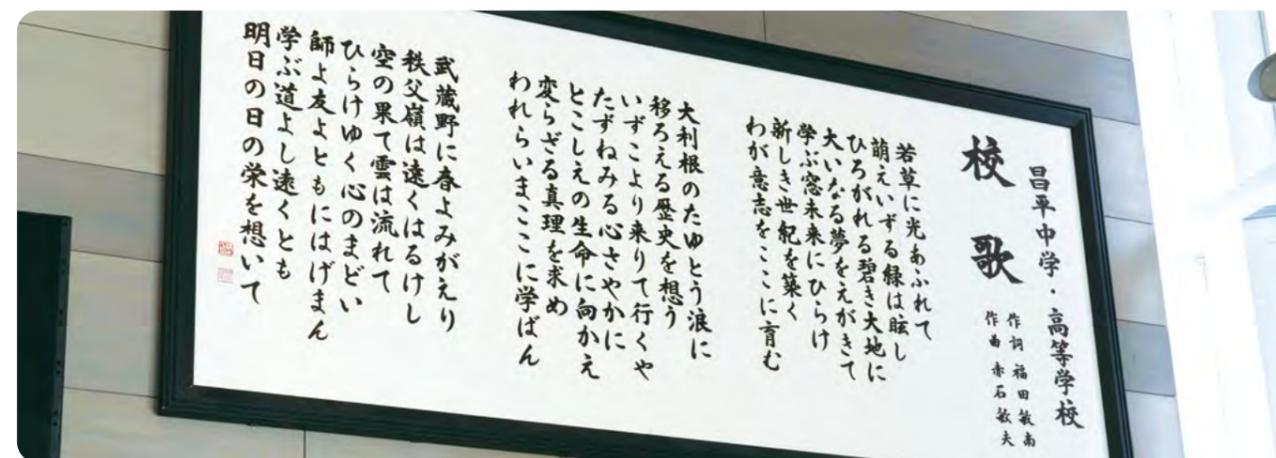
夢を探究する力や国際性を備えた、信念をもつ若者を土台から育てていきたい。

主体的に学び、考え、表現できる大人へと成長するのを見守りたい。

それが昌平の中高一貫教育にかける想いです。

熱意あふれる教員が理想の教育を日々実践し走り続けています。

子どもたちとともに、そして子どもたちを送り出す日のために。



# グローバル

## 人材育成プログラム

これからの時代に必要なエージェンシーを身につける、生徒主体の学び



### 「好きのチカラ」

好きだから、楽しい。  
好きだから、がんばれる。



## IB

INTERNATIONAL  
BACCALAUREATE

### 国際バカロレア

#### グローバル社会で活躍し、貢献する 次世代リーダーの育成プログラム

世界で活躍する人材の育成、  
多様化する大学入試への対応。  
生徒はIBによって  
以下のメリットを得られます。



- ▶ 思考力・表現力がつく
- ▶ グループワークによって協働性を育む
- ▶ 「振り返り」によって自分に必要なことに自分で気付く

IBワールドスクールは、「質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組む」という理念を共有する学校です。

▶▶▶ P.5

MYP  
認定校  
(埼玉県初)

DP  
認定校  
(2019年)

## PEP

POWER ENGLISH PROJECT

### パワー・イングリッシュ・プロジェクト

#### 全校生徒が英語を得意教科にする 徹底的な取り組み

- 英検全員受験(中3で全員準2級以上の合格を目指す)
- プリティッシュヒルズ語学研修(希望者対象)
- プリティッシュヒルズ語学研修(中学1・2年全員)
- TOKYO GLOBAL GATEWAY 語学研修(中学2年全員)
- インターナショナル・アリーナ(日本語禁止部屋) 外国人教員との交流
- オーストラリア語学研修(希望者対象)
- ハーバード サマースクール in SHOHEI(中3以上、希望者対象)
- 全校レシテーションコンテスト(スピーチコンテスト)
- 英語の授業の充実、英語で英語を学ぶ
- ポキャブラリーコンテスト
- GTECやTOEIC Bridgeの実施



▶▶▶ P.7

## SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT  
GOALS

### 持続可能な開発目標

#### 社会とのつながりを 意識した学び

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。



生徒はJICAの訪問や模擬裁判等を通じ、「誰一人取り残さない」ために「自分たちが今できること」を考えます。また、ユニクロとコラボした「届けよう、服のチカラ」プロジェクトでは、地域の小学校や幼稚園等に呼びかけ、難民キャンプに届ける服を集めています。これらのプロジェクト学習の集大成として、中学3年次には「コミュニティープロジェクト」に取り組みます。生徒が自分の興味・関心に合わせて奉仕活動を考え実施し、その成果を論文にまとめ発表します。

▶▶▶ P.11

# 合格

一貫6・7・8期生(191名)  
大学合格実績(過去3年間)

● 東京大学	2名	● 一橋大学	1名
● 東京工業大学	1名	● お茶の水女子大学	3名
● 東京外国語大学	2名	● 筑波大学	5名
● 群馬大学(医・医)	1名	● 早稲田大学	16名
● 慶應義塾大学	3名	● 国際基督教大学	1名
● 上智大学	8名	● 東京理科大学	25名
● 明治大学	17名	● 青山学院大学	5名
● 立教大学	10名	● 中央大学	19名
● 法政大学	17名	他多数合格	

▶▶▶ P.16

# 環境

### 学習室とサポート体制

学習したい時にしたいだけを実現。日曜日、祝日、長期休暇中でも利用できます。卒業生のチューターは質問から進学まで何でも相談可能。



▶▶▶ P.15

# INTERNATIONAL BACCALAUREATE [MYP]

## 世界基準のシステムを採用 ～変わり続ける社会で活躍するために～

IBは、国際バカロレア機構(本部：スイス、ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムです。世界150以上の国・地域において5,000校以上がこのプログラムを導入しています。また、近年は文部科学省もその普及・拡大を推進しています。IBは年齢に応じてPYP、MYP、DPの三つのプログラムに分かれます。昌平中学校は、2015年3月1日にMYP(中等教育プログラム)の候補校になり、以降2年間をかけて研修、授業実践等を行ってきました。これらの取り組みが、IB機構による厳格な審査により認められた結果、本校は2017年3月17日よりMYPの認定校になりました。昌平中学校では1年生から3年生の全員を対象に、MYPの授業を日本語で行っています。また、2020年度には高等学校でも、DP(ディプロマ・プログラム)の授業を開始しました。



### IBの理念

IBの理念は次の「IBの使命」、「IBの学習者像」によって明確化されています

#### (1)IBの使命：IBの目的を示しています。

国際バカロレアは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

#### (2)IBの学習者像：IBの使命を具体的に人物像として示しています。

学校は学力だけをつける場ではありません。立派な大人になるため様々な経験をする場です。本校は2010年の中学校開校以来、学力と共に人間力の育成を掲げてきました。これはIBの使命、学習者像と重なり、IB導入によって強化されます。

- Inquirers …… 探究する人
- Knowledgeable 知識のある人
- Thinkers …… 考える人
- Communicators コミュニケーションができる人
- Principled …… 信念をもつ人
- Open-minded… 心を開く人
- Caring …… 思いやりのある人
- Risk-takers… 挑戦する人
- Balanced…… バランスのとれた人
- Reflective …… 振り返りができる人





### IB授業の特色

IBの授業は調べ学習、発表、話し合い等、生徒が授業の中心となるものが多いです。これによって将来、社会に出た時に必要な思考力やコミュニケーション能力等が身につきます。さらに、自分の頭で考え、そして動くことが多いので授業内容が頭に残りやすいです。

### 時間割

本校の中学2年生の時間割の例です。

■の科目がIB対象科目です。

	月	火	水	木	金	土
1限	道徳	化学	体育	歴史	数学	数学
2限	体育	数学	地理	英会話	国語	英語G
3限	国語演習	英語R	国語演習	美術	英語W	音楽
4限	生物	英語G	歴史	国語演習	体育	生物
5限	数学	技術・家庭	英語G	英語G	英語R	
6限	国語	技術・家庭	数学	数学	LHR	
7限		地理			化学	

### 在校生の声 IB授業を本校で3年間受け、MYPを修了した生徒の声を一部紹介します

小学校の時は恥ずかしがり屋で、人前で話すのは苦手だった。クラスで何度もプレゼンテーションをすることで日本語だけでなく、英語でも人前でプレゼンテーションをできるようになった。そして、様々なことに対して、必ず自分の意見を持つようになった。その意見を交換すると友達もいろいろな意見を持っていて、しかもそれらの意見が興味深いことが多かった。

ディスカッションが多いので、いろいろな人のことやその人の立場を考えるようになった。友達に「いつも親切だね」と言われるようになってうれしかった。その友達も自分の意見を言えるようになったし、意見を言うことは大事だとわかったと言っていた。そのような友達に親切と言われてうれしかったし、お互いに励まし合うこともうれしく感じる。



高校進学時に希望によってIBコース[DP]クラスに進学することが可能です。 P.13

## VOICE

### 生徒の学習意欲・問題意識が劇的に高まりました

生徒たちを見てみると、以前よりもいろいろと問題意識をもって、学習に取り組んでいることがよくわかります。プレゼンにも中身があり、聞く側を惹き込む力もついてきました。IB教育の特色の一つに、多様性を認識することがありますが、日本特有の教育とIB教育の違いを自然に受け入れ、これまでにない発想をする生徒も出てきています。今後は昌平だけでなく、日本全体にIBを普及させたいとの思いでさらに尽力してまいります。

教頭・国際教育部長  
IB公認 ワークショップリーダー コンサルタント  
前田 紘平先生



## VOICE

### 主体的に学ぶ姿勢が問われるIBの授業が好きです

公民の授業で、ベーシックインカム導入についての賛否を議論する機会がありました。私は賛成派に回り、ベーシックインカムがあることで、国民が良い環境で働くことができると主張しました。AIが書いた詩の価値について、深く考察したこともありました。どちらも「これ」という正解はないと思いますが、自分の考えをしっかりと持つことで、答えのない問いに対してすごく楽しみながら、考える習慣が身につけてきたことを実感しています。大事なことは目の前にある問題を自分はどうとらえるかで、常に主体的に学ぶ姿勢が問われるのが、私が感じているIBのスタイルです。

高校1年生(中高一貫11期生)  
宮田 千聖さん





### 全校生徒が英語を得意教科にする徹底的な取り組み

「全校生徒が英語を得意教科に」を合言葉に、全校生徒を対象に本校の全教職員で取り組んでいる英語力超強化プロジェクトです。大学入試という観点から見て、文系生徒にとっても理系生徒にとっても英語力はその明暗を分けることになります。本校では英語に興味を持たせる機会を数多く用意し、英語に積極的に関わる場面も多数作っていきます。6年間一貫教育体制で英語の4技能・5領域(聞く、読む、話す[やり取り]、話す[発表]、書く)を育成します。

### 各種検定の取り組み

#### 英語検定全員受験への取り組み

##### 「中学3年で全員英検準2級以上の取得を目指す」

本校では中学・高校全体で英語検定全員受験運動を展開。全生徒が年に一度以上英検を受験する取り組みが定着しています。

#### 「日本語禁止部屋」インターナショナル・アリーナ

本校では、日本にいながら外国空間を体験出来るインターナショナル・アリーナを設置しています。文字通り日本語禁止のこの部屋には6人の外国人教員が常駐し、英会話の授業から、放課後のESS部、英検の二次対策などを担当しています。外国人教員は一切日本語を話しません。しかし休み時間や放課後はこの部屋からたくさんの生徒たちの明るい話し声や笑い声が聞こえます。覚えた単語と身振り手振りで何かを一生懸命伝えようとする中1や、習った文法を使って真剣に話し込んでいる中3など、会話を中心に楽しく自然に英語力を高められる空間です。



### PEPの実践と体験プログラム

#### ブリティッシュヒルズ語学研修

「パスポートのいらない英国留学」英国の文化・マナーに触れながら活きた英語を学び、異文化への興味を養います。

- 希望者対象 (5月実施 全学年)
- 中学1年 (11月実施)
- 中学2年 (7月実施)



#### TGG(体験型英語学習施設)

中2の体験型プログラムの一つとして2019年度より訪問。イングリッシュ・スピーカーとのやりとりやさまざまなプログラムを通じて、「わかった」「通じた」という英語のコミュニケーションの成功体験が豊富に得られます。



#### 修学旅行

令和5年度入学生よりハワイの予定。3月上旬～中旬、5泊7日。IB/PEP/SDGsの集大成。自然/文化/歴史/持続可能性を英語で探究。



#### オーストラリア スコット・スクール、サンシャインコースト・グラマースクールとの姉妹校提携

毎年夏休みには短期語学研修として、2週間のホームステイをしながらスコット・スクールの授業に参加します。また、オーストラリアの生徒も毎年来校し、本校生の家庭にホームステイをしながら、授業に参加します。英語の時間などには生きた教材として大活躍をしてくれます。

- オーストラリア語学研修(希望者)
- オーストラリア姉妹校等への短期交換留学(高校生希望者選抜)
- オーストラリア姉妹校生徒等のホームステイ受入(希望者)



#### 校内英語スピーチ、レシテーションコンテスト

各学年で予選を実施し、上位者は本大会へ進みます。校内で優勝した中学生は、私立中学校英語レシテーション大会、高校生は県大会へ進みます。



#### ボキャブラリーコンテスト

英語力の強化に単語力は欠かせません。本校では学年ごとの課題に合わせた英単語テストを年に3回、全校一斉に行います。それがボキャブラリーコンテストです。それに向けた取り組みは英語の授業だけでなく、学級運営等にも取り入れて生徒達の英語のモチベーションを盛り上げていきます。



#### ハーバード・サマースクール in SHOHEI

2018年度より、ハーバード大学生を本校に招いて英語で学ぶ、希望者対象のハーバード・サマースクールを実施します。議論や発表が中心の授業で論理的思考力、批判的思考力を伸ばします。



## ENGLISH COMMUNICATION TEACHERS

### 英語科

**Clay Boutilier**  
クレイ・ブーティリエ  
(カナダ出身)



I believe in order to become a better English speaker, one needs to use the language every day. In our classes at Shohei, we want students to enjoy using English and see it as a fun and exciting part of their daily school experience.

上手に英語を話せるようになるには、毎日使うことが大切です。昌平の授業の中で、私たちは、みなさんに、英語を使うことを楽しみ、英語を使うことを学校生活の中のワクワクする一場面としてとらえてほしいと思っています。

### 英語科

**Luis Castellanos**  
ルイス・カステヤノス  
(グアテマラ出身)



There is no doubt that English is one of the most important languages of the world in terms of worldwide ubiquity and usage. Learning English will be a great asset for the students in their future. I am happy to help the students improve their English skills. I enjoy encouraging them to speak in English to me during class and whenever I meet them around school.

皆さんもご存知のように、英語は、世界中で話されている最も重要なことばの一つです。英語を学ぶことは、生徒の未来にとって価値のあるものになるでしょう。私は、生徒一人ひとりの英語力向上のために喜んでお手伝いします。授業や校内で、生徒と英語で会話することを日々楽しんでいます。

### 英語科

**Mario Beck**  
マリオ・ベック  
(アメリカ出身)



The world is becoming ever smaller through humanities' ability to create better forms of communication. It is becoming essential that students around the world be made more aware of the different cultures surrounding them. I strive to make sure each class is shrouded in positivity and that everyone is able to learn while having fun. I want everyone in my class to leave being, stronger, smarter, better than they were before.

コミュニケーションの発達により、世界は小さくなり、世界中の学生が、様々な文化をより深く理解することが重要となっています。私は、生徒一人ひとりが、楽しみながら主体的に学ぶことのできる授業を行っています。全ての生徒が受け身ではなく、授業を通して、よりたくましく、より賢く、より良く成長できることを願っています。

### 数学科・英語科

**Rodrigo Cunha**  
ホドリゴ・クンニャ  
(ブラジル出身)



English is the language most spoken in the world. Learning it will open doors you cannot imagine! At Shohei, teachers and students work hard to achieve excellence in language skills and we have a lot of fun at the same time. Come and join us in this path towards a better education and a brilliant future.

英語は世界の中で最も話されている言語です。英語は想像以上の世界への扉を開く鍵です！昌平では、教員と生徒が、楽しい学校生活の中で、高い言語力習得を目指して、熱心に学んでいます。明るい未来に向かって、ぜひ一緒に学びましょう。

### 英語科

**Danielle Le Sage**  
ダニエル・ラ・セージ  
(アメリカ出身)



Everyday it's such a pleasure to interact with students. I love seeing their progress throughout the year, and the exuberant effort they give. It is why I enjoy teaching. Using their English skills will give them more opportunities and new friendships.

毎日生徒たちと話ができ本当に楽しいです。年間を通して成長していく姿や生き生きとがんばる姿を見るのが大好きです。だから教えることが楽しいのです。自分の英語の力でもっとチャンスと新しい友達を作っていきます。

### 英語科

**Adam Webb**  
アダム・ウェブ  
(ジャマイカ出身)

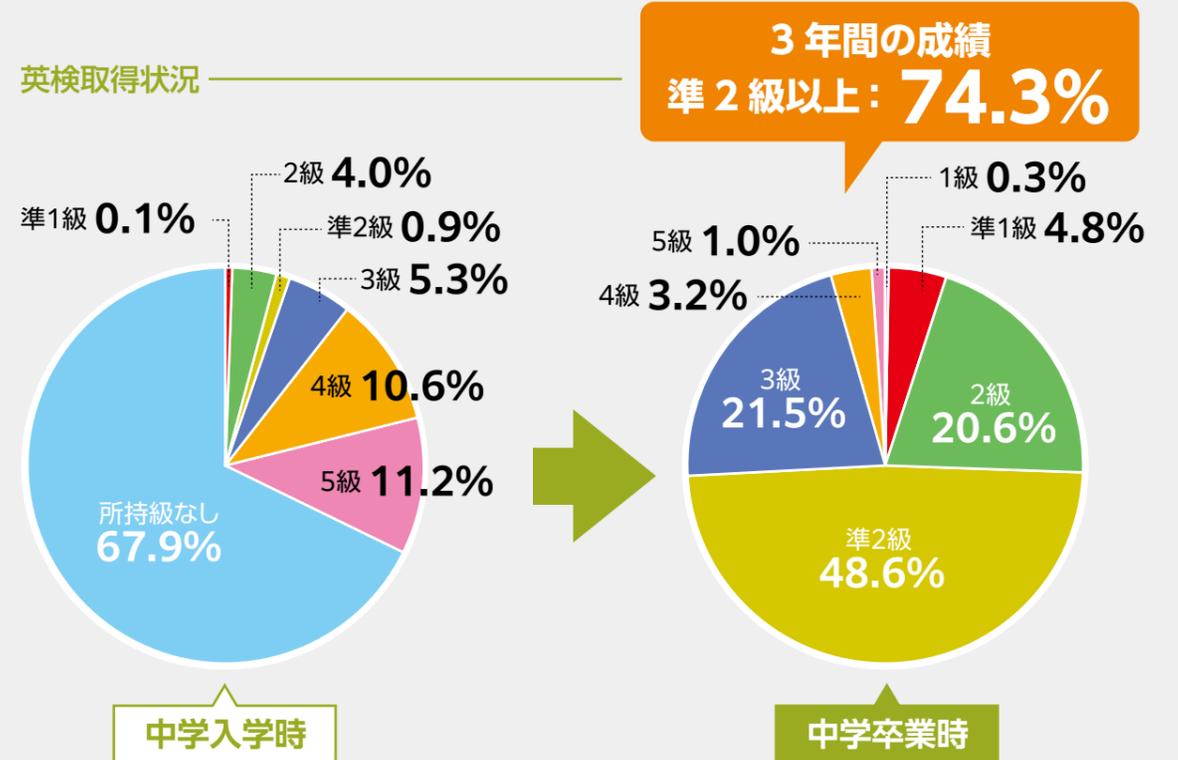


You might think that learning English is a long and difficult journey, but with the right mindset, it can be a fun and exciting adventure! At Shohei, we will help you to improve your English skills every day. As your skills improve, you will gain more confidence. Learning to speak English well can open many more doors for you, so let's take the journey together. What are you waiting for? Let's go!

もしかすると、英語は難しいと思っている人もいかもしれませんが、しかし、考え方を変えれば、英語学習は楽しくワクワクする冒険に変わります。昌平では、毎日、教員が皆さんの英語力向上のサポートをしています。技術が向上すると自信もつきます。英語を上手に話すことは、皆さんの可能性を広げることに繋がります。さあ、一緒に学びましょう。

## 英検取得状況

中学入学時と中学卒業時の比較(現高1・2・3年生:過去3年平均)



## VOICE

### 受け身ではなく主体的に学んでいくグラマーの授業

私が担当するグラマーの授業は、生徒が自ら次の単元の内容を調べてくることから始まります。例えば、「動詞の使い方を調べてきてください」と伝えると、次の授業では各々が「予備知識」を持って参加してくれます。初めこそ何を書いたらいいかわからない生徒もいましたが、今ではそれがルールとなり、私が説明を始める頃には、文法を学ぶ姿勢が整っています。その証拠に生徒の表情も生き生きとしています。受け身の姿勢からは何も生まれません。「受け身にならず主体的に学んでいく＝自分のために英語力をつける」との意識をもって取り組んでもらっています。

英語科主任  
戸恒 和香子先生



## VOICE

### 英語力を伸ばして言葉の壁のない看護師になりたいです

入学時に英検3級を持っていたのでアドバンテージはありましたが、学年が上がるにつれて難しいなと思うことが増えてきました。でも相談すれば、モチベーションを引き出してくれるのが昌平の先生方です。廊下などを歩いているとよく、ネイティブスピーカーの先生方から話しかけられます。前よりスムーズに英語が喋れる自分が嬉しくて、自分からもどんどん話しかけるようになりました。高校、大学ともしっかりと英語を学び続け、将来は看護師になることを考えています。来日する多くの外国人の方々の方が病氣やけがで不安な時、言葉の壁があってはならないと思うからです。

中学3年生(中高一貫12期生)  
紙谷 亜彩未さん



# SDGs

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 持続可能な開発目標 社会とのつながりを意識した学び

持続可能な開発目標 (SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。本校では開校以来、世界を意識し、世界を理解する力を育成する取り組みを様々な角度から進めてまいりました。校外学習、実験を中心とした体験型学習によって課題を発見し、課題解決のための企画を生徒自らが考え、奉仕活動を行い世界との関わりを考える学びを実践しています。



“届けよう、服のチカラ”プロジェクト

### 「世界」をテーマにしたグローバル教育の推進

世界を共通テーマにして、中学校の3年間取り組んでいます。教員が一方的に教えるのではなく、生徒達が自ら課題を見つけて探究していくプログラムです。発展途上国について調べたり、地域の様々な問題に気づき、正解のない課題に取り組んでいます。3年生になると自分の将来の夢をふまえ、自ら奉仕活動を考えて取り組みます。活動の中で困難に感じることもありますが、それを乗り越えることでやりにくく気づくことができます。

### 校外学習、実験を中心とした体験型学習

大学研究室訪問から芸術鑑賞まで、多彩な体験学習が年間を通して予定されています。机上の学習では得られない感動を得られるとともに「調べる」「まとめる」「発表する」「考察する」といった学問の基本となる姿勢を身につけることができます。

#### 世界を意識した体験型プログラム



TGG



JICA



外務省

## VOICE

### “自分の物差し”で物事を測れるグローバル人材に

SDGsを意識した学びに際し、私が最も意識しているのは、人種・民族・性別・宗教などを超越し、どこまでも“自分の物差し”で物事を判断してほしいということです。「型破り」という言葉がありますが、ただ闇雲に型を破るのではなく、説得力のある型破りが必要です。本校が用意する世界を意識した体験型プログラムや校外学習はすべて、生徒一人ひとりの独自性と説得力の高いところに視点を置いて展開しています。SDGsの目標は17ありますが、すべてを総合的にとらえる必要はなく、大事なことは、世界各地で起こっている様々な出来事から気になる点を自らフォーカスし、自分の物差しで測れることを考えています。

中学2年学年主任・芸術科主任  
村上 一馬先生



## VOICE

### 交通事故を減らすための改善案を議会に提出しました

中3のコミュニティプロジェクトを機会に、交通事故を減らすための活動を始めました。着目したのは、学校周辺に意外と信号機が少ないことと、せっかく横断歩道があるのに白線が消えかかっている現状でした。具体的な改善案をいくつかまとめた文章を作成し、杉戸町議会に提出したところまでが一区切りです。結果はわかりませんが、世の中を変えていく一つの足掛かりになったら嬉しいです。身の回りにあるちょっとした出来事や変化に関心を持つことの大切さを学ぶことができたと同時に、そのようなきっかけが持続可能な社会の実現につながると思いました。

高校1年生(中高一貫11期生)  
山根 颯斗くん



### ■新たな発見と感動を体験

#### 体験型プログラム・校外学習

模擬裁判という疑似体験を通じて、刑事裁判に関わる裁判官、検察官、弁護士、陪審員の役割を理解する体験型プログラムです。また、一日がかりで出かける校外学習は、学年ごとに異なるテーマを持ち、体験を学びへと深めていきます。



鎌倉散策(6月)



模擬裁判(7月)



参議院(8月)

#### 体験した校外プログラムを記録に残し発表

班別研修で得た情報や体験をそれぞれが新聞形式やレポート形式で作成し、発表・掲示します。他の班から得た多くの情報も知識の源となります。



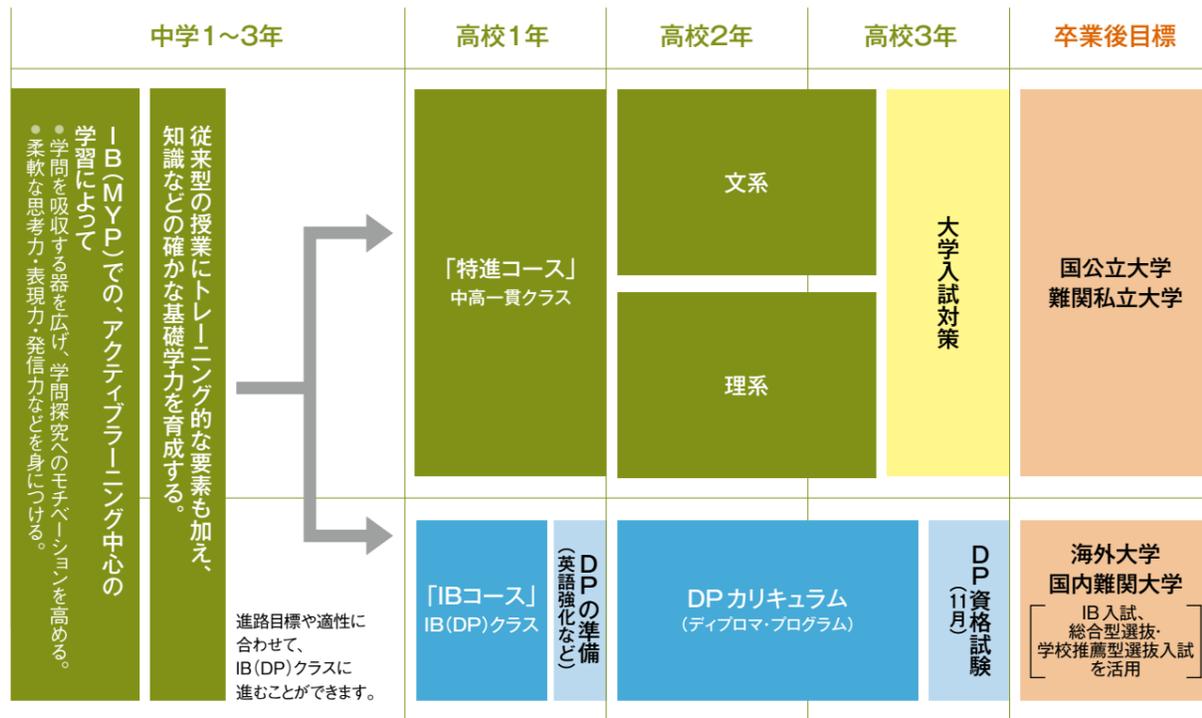
# 進路指導

6年間一貫教育体制  
昌平の学び

## 「主体的で自立した学び」のスタイルを確立

「学ぶ楽しさ」を知ること「基本的な生活習慣」を身につけること、多彩な体験学習を通して「主体的で自立した学び」のスタイルが確立されます。これらすべてを私たちは「学習」と捉え、一貫教育の先取り学習のメリットを存分に生かしたカリキュラムを展開し、広がりのある学習経験がダイナミックな成長を促します。また大学入試においては入試形態の多様化が進んでいます。入試問題は知識重視の出題から「思考力」や「判断力」など知識の活用力を問う内容が多くなっています。本校では、各教科でIB教育を展開することによって、「思考力・判断力・表現力」を育成し生徒が主体的・協働的に学ぶ力を養います。また、英語教育では「パワーイングリッシュプロジェクト」を掲げ、英語の4技能5領域(聞く・読む・話す[やり取り]・話す[発表]・書く)を系統的に育成。6年間を通じて「英語を使って何ができるようになるか」という観点からより高度な学習を展開していきます。

## 中高一貫生の進路イメージ



## 高校進学後は、「特別進学コース」または「IBコース」で学びます

### 国公立大の受験科目を意識し 教科バランスを考えたカリキュラム編成

IB教育で修得した中学3年間の学びを生かし、生徒一人ひとりの現役合格に向けてより実践的なカリキュラムが展開されます。



## 学習時間の確保

丁寧に教え、しっかりと定着させる授業を展開するために、公立中学校と比較して格段に多い授業時間数を確保。また、夏・冬・春の長期休業中は講習授業も実施します。

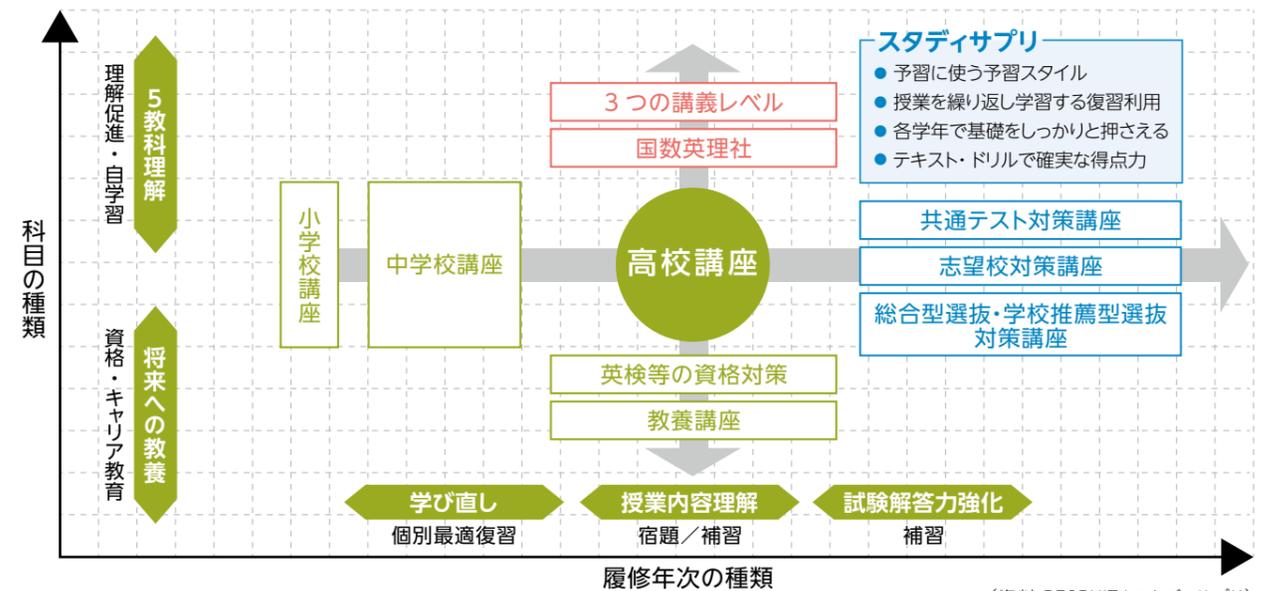
- 土曜日は授業を実施(第4土曜日のみ休業)
- 平日は6時間授業を基本に、週2回(火・金)、7時間授業を実施  
また希望者対象の放課後講習を8限目に実施
- 講習を含む授業時間数は合計35~37時間/週
- 学習室(平日・土・日・祝日 開放)



## スタディサプリ・スタディサプリEnglish(RECRUIT)

### 小・中学校の復習、予習から難関国公立大学対策まで

本校では、日頃の予習・復習学習や、長期休業中の家庭学習を励行しています。スタディサプリは、小・中学校の学習から大学受験レベルまで、約3,000本の講義動画を各家庭で視聴することができます。生徒個々の学習の進捗状況に応じて、レベルに合った講義を受講することができ、授業の予習に使う予習スタイル・授業を繰り返し学習する「復習学習」にも活用することができます。また、英検対策・英語4技能の講座が受講可能(スタディサプリEnglish)です。



## VOICE

### 将来の“なりたい自分”を思い描きながら勉強しています

授業中に取り入れるノートには必ず、その日に復習するための“メモ”を記入することにしています。ただその日の授業内容を復習するだけでなく、自分が理解できていないポイントや、再確認すべき項目をわかりやすくするための工夫です。中3になった今、「将来こうなりたい」「自分が好きなことはこうだ」というイメージを具体的に描きながら、大学進学のことまで意識した勉強を始めました。目標を明確にすることで、今のうちにやっておくべきこと、積んでおくべき経験などが明確になってとてもいいです。既に英検準2級を持っているので、高校卒業までに英検準1級の取得も狙っています。

中学3年生(中高一貫12期生)  
柴田 鷹仁郎くん



## 高校進路・学習サポート体制

### 全教員があらゆる面から、目標達成をサポートします

何のために大学で学ぶのか、社会にどんな貢献をしたいのか、将来へのルートマップを6年間かけてじっくり作り上げます。生徒一人ひとりの興味や関心の幅を広げ、夢の実現への手がかりを獲得するために多くの時間を割いています。そのようにして描いた夢は簡単にはゆらがないもの。現役大学合格まで粘り強く頑張れる生徒が育っています。

#### 自学・自習室 ～卒業生が後輩へ学習指導～

リクルートが管理する自学・自習室を設置しています。いつでも質問に応えられます。本校の卒業生がチューターとして日曜または長期休業中でも生徒の質問に対応したり、単元別講座を開いたりして後輩へ学習指導をしています。



#### チューター紹介



松本 康暉さん  
東京工業大学  
工学院 機械系

受験生時代に自習室で勉強していて頻りにチューターに質問していました。その場ですぐに疑問が解決できたので非常に助かっていました。現在は自分がチューターとして、教科質問だけでなく普段の勉強や進路の相談などを通じて自主学習のサポートをしています。わからないところがあったり、相談事があれば気軽に利用して欲しいです。



山本 南緒さん  
お茶の水女子大学  
理学部

私が高校生どきに自習室は常に利用していましたが、勇気が出ずチューターの活用はあまりできていませんでした。同じような生徒さんのためにも気軽に接してもらえるような雰囲気作りを心がけています。微力ながらみなさんの学力向上や相談にも精一杯尽力させていただきますので、是非積極的にご利用ください。



矢内 大雅さん  
東京大学  
理科一類

チューターはただ解き方を教えるのではなく、そのような時にヒントを与えて自力で考えられるよう手助けする存在です。自分自身が受験生の頃の体験も大切にしています。進路相談から大学生活についても話も気軽に聞けるような環境づくりを目指していますので、積極的に利用してもらえたら嬉しいです。一緒に後輩をサポートしていく仲間が増えることも楽しみです。



## 令和5年 昌平高等学校 大学合格実績

国公立大学  
**69**名合格  
(現役61名)

早慶上理  
**81**名合格  
(現役72名)

G-MARCH  
**170**名合格  
(現役144名)

医学部 医学科 計**6**名  
国立 群馬大、長崎大  
私立 日本大、昭和大、杏林大、北里大

### 国公立大 過去6年 主な合格実績推移

大学	卒業年	令和5	令和4	令和3	令和2	平成31	平成30
東京大学			2	2	1		2
東京工業大学	2	2	1	1		3	
一橋大学	1	1		1			2
北海道大学	2	1	1			2	1
東北大学	1	4	1	2	6	2	
お茶の水女子大学	3	4		1	2		
筑波大学	10	9	4	5	5	5	
千葉大学	4	3	7	2	3	4	
埼玉大学	7	5	14	11	7	7	
群馬大学	5(医・医1)	6	3	2	4		
その他国公立大学	34	64	51	63	35	33	

### 私立大 過去6年 主な合格実績推移

大学	卒業年	令和5	令和4	令和3	令和2	平成31	平成30
早稲田大学		19	22	26	13	21	24
慶應義塾大学	7	4	6	7	10	5	
上智大学	7	7	6	10	7	7	
東京理科大学	48	47	46	48	33	19	
学習院大学	19	25	20	23	15	15	
明治大学	28	55	25	35	21	42	
青山学院大学	19	6	15	17	14	9	
立教大学	27	45	35	37	22	27	
中央大学	36	42	48	72	42	18	
法政大学	41	63	20	19	33	26	
その他私立大学	721	884	746	810	710	725	

### うち中高一貫生の主な合格大学

令和5年卒 (8期生)		令和4年卒 (7期生)		令和3年卒 (6期生)	
一橋大学	1	東京大学	1	東京大学	1
お茶の水女子大学	2	東京工業大学	1	広島大学	1
筑波大学	3	北海道大学	1	岩手県立大学	1
群馬大学	2	東北大学	1	早稲田大学	4
早稲田大学	7	お茶の水女子大学	1	上智大学	4
慶應義塾大学	3	東京外国語大学	2	東京理科大学	1
上智大学	2	筑波大学	2	学習院大学	3
東京理科大学	7	横浜国立大学	1	明治大学	3
学習院大学	1	東京都立大学	1	青山学院大学	2
明治大学	6	群馬大学	2	立教大学	1
青山学院大学	2	うち医・医	1	中央大学	9
立教大学	8	早稲田大学	5	法政大学	1
中央大学	2	上智大学	2	成蹊大学	1
法政大学	5	東京理科大学	12	獨協大学	6
國學院大學	4	国際基督教大学	1	國學院大學	2
武蔵大学	3	明治大学	8	津田塾大学	3

# CONVERSATION

卒業生を迎えて(令和5年卒)



筑波大学  
情報学群  
情報科学類  
田口 瑛啓さん  
中高一貫8期生

一橋大学  
ソーシャル・  
データサイエンス学部  
鴨下 哲二さん  
中高一貫8期生

慶應義塾大学  
理工学部  
学門A  
室岡 誠一さん  
中高一貫8期生

筑波大学  
芸術専門学群  
木村 莉菜さん  
中高一貫8期生

早稲田大学  
文化構想学部  
角田 心絵さん  
中高一貫8期生

お茶の水女子大学  
理学部  
数学科  
埜坂 梨衣奈さん  
中高一貫8期生

## 中学受験を意識したら昌平と出会った

**鴨下** 中学受験で昌平を選んだのは、中高一貫教育が大学受験に有利と聞いたからです。小5だったかな。それからずっと受験勉強していました。

**田口** 僕の場合は小学校の担任から突然「受験しないの？」って(笑)。いろんな人と相談した結果、昌平を選びました。

**木村** 中高とずっと高いモチベーションで学んでいきたかったから受験しようと思いました。実際に学校見学に行き、施設の充実ぶりに納得して昌平を選びました。

**埜坂** 私は実は別の学校に合格していました。最終的に昌平に決めたのはプールの授業がなかったからです。

**田口** ん？何それ？

**埜坂** 私、泳げないのです。でも学校生活がとても楽しくて、その様子を見ていた姉が高校から昌平に入ったくらいです。

**室岡** 昌平の科学技術体験会に参加しました。その際、ペットボトルのロケットをみんなで

作って飛ばしたら、それがとても面白くて、もともと理科が好きなので、それからもう昌平一本で勉強していました。

**角田** 2つ上の兄が昌平生でした。家族と昌平に行く機会が何度もあり、先生方の雰囲気がとてもいいないつも感じていました。それともう一つ、IB教育の一環で発表の機会もたくさんあることを兄が教えてくれたのも、昌平を選んだきっかけになりました。

## 誰もが楽しく成長できる昌平の6年間

**木村** たしかに中学の基本にIB教育があるので、グループワークや発表を通して、授業中もクラスに活気があふれていましたね。座学よりもはるかに楽しかったです。

**角田** たしかにそれはいえますね。グループ発表とか、そういう人と話し合う授業がとても多いので、人前で話すことにすぐに慣れました。

**室岡** これは一貫教育ならではのおもしろさだと



思います。最初「この人とは絶対に仲良くならないだろうな」と思った人と、最終的には一番仲良くなるのが昌平なかもしれません。鴨下くんがそうでした(笑)。なるほど。本当に仲良くなったのは高3の秋だけ？きっかけは体育祭だったような…。

**鴨下** そうです。体育祭の練習を通して、けっこう深い話ができる間柄になりました。

**埜坂** そうだったんだ。公立の中学とは違い、昌平にはいろんな地域から生徒が通ってくるので、人見知りだった私は最初、緊張の連続でした。でもずっとクラスが一緒だったので、最終的には男女問わず仲が良く、私自身が6年間、居心地の良さを感じていました。

**田口** 中学時代に1年間、クラス委員をやっていましたが、僕らのクラスは基本、いつもは勝手なことをやってるんだけど、まとまるときはうまくまとまっていたね。

**鴨下** 合唱コンクールもそんな感じでしたね。

**田口** そうそう。僕は合唱コンで音取りを担当していましたが、男子は基本さぼるんです(笑)。さぼるんですけど、最終的に、中1で審査員特別賞、中2と中3では連続して金賞をもらいました。これって、まとまるころはまとまった結果ではないでしょうか。

## 昌平なら予備校に行く必要はないという実感

**埜坂** 多分私は、このメンバーの中で一番、先生方にお世話になっていると思います。

**角田** どういうこと？

**埜坂** 私は受験勉強の際も自習室とかにはいかずに、中学の職員室前でずっと勉強していたからです。中学時にお世話になった先生はもちろん、一度も習ったことのない先生にも「ここ教えてください」って。中学の先生総がかりで、毎日最終下校時間まで徹底的に教えてもらっていました。

**木村** そうだったんだ。私はみんなとはちょっと違う芸術系の学部を志していたので、土日は実技だけに10時間ほど費やし、平日はそれ以外の勉強に充てるよう工夫していました。どんな進路でも強力にサポートしてくれる、そんな先生方が揃っているのが心強かったです。

**鴨下** 僕は中学の頃から国立大学進学を志していたのですが、先生方が個別に問題を与えてくれるので、塾や予備校に行かなくてもどこか安心していました。教科を問わず、解答の一つひとつを細かく採点してくれるので、自分の現状がよく理解できて助かりました。

**田口** 勉強時間は日によって違いますが、平日は平均2時間半、休日は一番多いと12時間は勉強していました。そんな中、推薦を使っただけの受験を考えたのは高2の夏で、高3の4月には自分の行きたい大学を先生方に伝えました。最終的には9名の先生方に個別指導していただき、志望校の合格を勝ち取りました。

**室岡** 先生方のサポート体制については、鴨下と



同じように、個別の問題をもらっては解いてと、その繰り返しで受験本番に臨みました。添削もとても丁寧で、「ここがこうだからだめ」と、的確な指導が次の問題克服に向けて大いに役立ちました。昌平なら予備校に行く必要はないと、卒業した今、実感から発信することができます。

**角田** 先生方の的確な指導ということでしょうか。「こういう生き方もあるよ」と、そんなアドバイスをもらったことがありました。初めは国立志望でしたが、実は自分が本当に学びたいものがそこになくて、迷っていたからです。選択肢は決して一つではないことに気づくことができ、とても感謝しています。

## 卒業生の数だけ昌平の魅力がある

**室岡** ここでちょっと将来の話をしませんか？僕は今、宇宙系に進みたいと思って理工学部で学んでいます。宇宙は男のロマンですから(笑)。

**角田** 男とか関係ないよ(笑)。

**木村** 芸術専門学群で学んでいます。芸術系=美大ではなく、総合大学のメリットを生かしながら、幅広い知識を身につけていきたいと考えています。

**田口** 幼い頃からパソコンが好きだった僕は、プログラミング関連の勉強をしています。4~5種類のプログラミング言語を独学で学びながら、将来はバックグラウンドエンジニアになることが目標です。

**埜坂** 数学科の教員免許取得をめざしています。実は中学の恩師のひとりから、「返返しをするなら先生ではなく、未来の子ども

たちに」とのアドバイスをもらったからです。いい話ですね。私は中学時代からずっと、英検取得に挑戦し続けてきました。昌平の英語の授業がとても楽しかったこともあり、満足できる結果につながりました。自分がやりたかった映画やサブカルチャーを大学で学びながら、将来は語学力を生かした仕事がしてみたいです。

**鴨下** ソーシャル・データサイエンス学部で学んでいます。中高時代はずっとバリバリの理系だったのですが、今は歴史学や社会学にも深く入り込んでいます。人生何かあるかわからないですね(笑)。理系も文系もすべてひっくりかえって、やるのがたくさんあって充実した大学生活を送っています。

**室岡** それじゃあ最後に一言。昌平は選択肢が広がる学校です！

**木村** 昌平は塾や予備校に行かなくても志望大学に合格できます！

**角田** 昌平には文武両道ができる環境があります！

**鴨下** 昌平にはおもしろい人がたくさんいます(笑)！

**田口** 昌平の先生方のサポートは手厚いです！

**埜坂** 昌平の先生方のサポートは手厚く、しかもきめ細かいです！



# GRADUATE

## 卒業生からのメッセージ

### 一つの道を究めていく自分であり続けたい

純粋数学の中の代数幾何について研究を続けています。とはいっても初めから数学が得意だったわけではなく、国語や歴史が好きでした。そんな私に、数学のおもしろさを教えてくれたのは昌平の数学の先生方です。答えを導き出すプロセスが、好きなディベートと重なる点に気づいたのも興味深い点でした。自分と先生の異なる考え方を議論という場に昇華させ、双方納得いくまで対論する時間は貴重なものでした。予備校に一度も通うことなく、常に先生と一緒に好きなことを追いかけることに感謝しています。私には今、海外の研究集会に参加する機会があります。世界各国の数学者と出会うことができるというある種のときめきは、どこか中高時代のホームステイ経験とも似ているものです。これからも新たな出会いを自身のキャリアデザインと融合させながら、一つの道を究めていく自分であり続けたいと思っています。



東京大学 大学院 在学中  
京都大学 理学部卒業  
2期生(平成29年卒) 軽部 友裕さん

### きっかけは廊下に貼り出されたポスターから

中学生のある日、廊下に理化学研究所(理研)のポスターが貼り出されました。研究室の一般公開の告知でした。興味を抱いて参加しましたが、豊富な知識を身につけた研究者の言葉に感銘を受け、見たことのない機器や設備が揃う空間に魅了され、自分もこんな場所で研究したいと思ったのが今の私の原点です。以来、本当に勉強だけに集中できる環境を先生方が提供してくださり、「女子大」という選択肢を薦めてくださったのも先生方でした。大学で生物学を学んだ私は今、大学院生となり憧れの理研で研究できる環境の中に身を置いています。テーマは神経生理学で、脳脊髄液など脳内にある“水”の流れから、アルツハイマー病などの発生要因を分析しています。このままアカデミアで進むのか、民間企業の研究者としての道を歩むのか、選択肢は複数ありますが、自らの研究を社会でどう役立てていくのか、じっくり考えていきたいです。



お茶の水女子大学大学院在学中  
お茶の水女子大学 理学部2類 生物学科卒業  
2期生(平成29年卒) 郷間 葵さん

### 先生方と共に“昌平を作って”きた2期生の誇り

帰国子女枠で入学して以来、どの先生というよりも、すべての先生に面倒を見ていただいたというのが実感です。私たちは開校から間もない2期生ということもあり、先生方と共に昌平中学を作ってきたという誇りもあります。先生方とはにかく生徒一人ひとりの考え方を尊重し、何をいっても絶対に否定されることはありませんでした。そんな距離感の近さがたまたま好きで、ついつい職員室を訪ねては、先生方と一緒にの時間を楽しむ私になっていました。思い出深いのは校外学習の数々です。古墳に行ったり、大使館を訪ねたりと、自分の目で見て、社会に触れて、リアルに世の中を学んだ経験はとても貴重でした。中高時代はダンス部、大学ではチアができる応援部に入りましたが、「人を笑顔にしたい」という想いはどちらも共通しています。今は食品という人々に愛されるフィールドを通して、世界中の笑顔を支える仕事をしています。



味の素株式会社勤務  
一橋大学 社会学部卒業  
2期生(平成29年卒) 澁田 奈々さん

### 「先輩ぶるな。先輩らしくいろ」は永遠の指針

中学・高校の6年間、集団スポーツのおもしろさ、すばらしさに目覚めてラグビーに夢中でした。在校中は県2位、準優勝が最高位でした。ただ私たちの1学年下の代から花園に行くようになり、悔しさ以上にそのペースを作ることができたという充実感もありました。学年が上がり初めて後輩を教える立場になった時、ラグビー部の監督からよくいわれた言葉は、「先輩ぶるな。先輩らしくいろ」でした。異学年が心一つにラグビーと向き合っていく中で、その金言はやがて私の生き方とリンクするものになっていきました。母の願いでもあった海上保安庁への道を選んだ際、集団スポーツの中で培われた経験を発揮できると考えた自分がいました。今いる職場も基本、集団で行動します。後輩もたくさんいる中で思うのは、やはり「先輩ぶるな。先輩らしくいろ」です。人生で一番成長できた6年間に感謝しています。



海上保安庁勤務  
2期生(平成29年卒) 小関 龍明さん

### 次世代のために役立つ施策の実現に努める

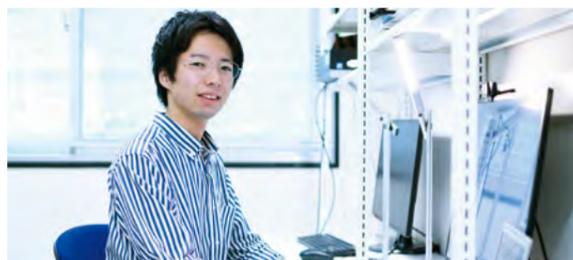
持続可能な社会を創る一助になりたい、次世代の代弁者として尽力したいと、そんな未来を思い描いていた私にとって、財務省が掲げる組織理念『国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ。』は魅力あるものでした。理念に共感して入省した一人として今、大きな使命感を感じて働いています。中学の思い出の一つが、毎朝10分の朝読書です。読書好きな友人に刺激を受けて本を読むようになり、いつしか互いに好きな本を交換して読み合う仲になりました。そのようにしっかりと“読み込んだ”経験が、読解力につながり、文章の表現力につながったという手ごたえがあります。中学の3年間、かなり本を読んだ記憶がありますが、そのような読書習慣が、大学生になっても、社会人になっても、生きる上での確かな基盤になっていたことは間違いありません。これからも次世代のために役立つ施策の実現に努めてまいります。



財務省勤務  
東京大学 文科二類卒業  
3期生(平成30年卒) 櫻村 周さん

### 未知なる道に進むべき軌道を見つけた瞬間

私が高3の頃、世の中に「データサイエンス」「ビッグデータ」という言葉が流行り出しました。もともとプログラミングに興味があった私ですが、未知なる道の中に自分の進むべき軌道を見つけた瞬間といっても過言ではありません。そういえば中学のプロジェクト学習(現SDGs)の時間に、自分の将来についてじっくり考えた時間がありました。中学生の私にとって、仕事と社会貢献を同時に考えることは決して簡単ではありませんでしたが、そういった土台があったからこそ、大学進学時に迷わなかったのではないのでしょうか。大学院での研究は「生物統計学」というものです。簡単にいうと、統計学を医学分野に応用した学問領域です。慶應義塾大学スポーツ医学研究センターで研究員をしていた経験も生かして、次年度からは中外製薬へ入社する予定です。今後も生物統計の専門家として、誠実な仕事をしていきたいと思っています。



横浜市立大学大学院在学中  
横浜市立大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科卒業  
3期生(平成30年卒) 植村 直紀さん

### 刺激のある環境に身を置いて成長できた6年間

英語圏からの帰国子女の私にとって、英語教育と国際教育に力を入れている昌平の学校生活は居心地の良いものでした。英語力を“生きたままの状態”で残してくれ、プラスアルファでさらに伸ばしてくれた環境に、とても感謝しています。そもそも昌平が求めるレベルは高いです。課題も多い学校ですが、なぜか先生方は「これ明日までね」と、普通の顔でいいます(笑)。ハイレベルな課題をこなすため、自ずと自分の中でしっかりと計画を立てるようになり、すべてやり切れたという経験は、社会人となった今でも生かされています。「基礎があれば応用できる」。どの先生からもいわれたアドバイスを実感する日々です。自分よりもすごい人が周りにいる環境を求め、現在の職場に入りました。常に刺激のある環境に身を置くことで、自分が成長できると思っています。実はこれ、昌平の6年間とも相通じるのでおもしろいです。



楽天グループ株式会社勤務  
上智大学 外国語学部 英語学科卒業  
3期生(平成30年卒) 大堀 桃花さん

### 大学に向けて“押し出してもらえた”ことに感謝

生徒にやる気があれば、それに対してきちんと応えてくれる環境が昌平にあります。生徒会もチアも全力でやり、そのうえで「東大に行きます!」と、発信した私を受け止めてくれたのも先生方でした。大学で国際関係論を専攻する私は、イランのインターナショナルスクール出身ということもあり、国際社会におけるさまざまな出来事に関心を持っています。とはいっても、自分の好きなことをカタチにするのは決して容易ではありません。中高時代の6年間に、どれだけのエネルギーを自分の中に蓄積できるかが問われるからです。仮にエネルギーが不足すれば、なんとなく4年間が終わってしまうかもしれません。私の場合は多様なエネルギー体験を“好きのチカラ”に変えて、エネルギーとして蓄えることができました。それを支えてくれたのは面倒見の良い先生方です。大学に向けて“押し出してもらえた”ことに感謝しています。



東京大学 教養学部在学中  
5期生(令和2年卒) 吉田 莉々さん

# TEACHER

各教科からのメッセージ

## 英語

## ENGLISH

### 本当のコミュニケーション力の育成 ～知識と実践の融合～

言語を習得するためには、24時間の生活の中でその言語を使う時間を増やす必要があります。授業だけで知識を頭の中に残すことができても、せっかく身につけたものを「使う」ことをしないとその知識は頭の中で徐々に消えてしまうのです。努力して身につけた知識を無駄にしないために、昌平中では日常生活の中で英語を使う機会がたくさんあります。また、「英語G(文のルールを学ぶ)＝知識」と「英語R(IB)＝実践」の授業があります。常に文だけを見るのではなく、そこに書かれていることをイメージすることが英語を使えるようになるためには大切です。

今、世界で必要とされるのは「コミュニケーション力」を持っている人材です。「コミュニケーション力」とは何でしょうか？これから世界で活躍する皆さんが間違った英語を堂々と話すことはとても恥ずかしいことです。正しい英語を身につけてこそ、世界中の人々に自分の考えを伝えたり、人の考えを正確に受け取ったりすることができます。そのやりとりが「本当のコミュニケーション力」なのです。

入学してくる生徒はほとんどが小学校の授業で英語をやっただけの人です。むしろ、最初の1歩からきちんと英語を学んでいく方法を身につけることができます。目標を持ち、努力をしている昌平中の生徒達の表情は、生き生きと自信に満ち溢れています。そして楽しそうです。これこそが英語学習の目指すところと言えます。



## 国語

## JAPANESE

### 論理的思考力・表現力の確立

たとえば、山を見たら春でも夏でも「きれいだ」としか言えない人と、「山(が)笑う」「山滴(したた)る」という言葉を知っている人とは、同じ山を見ていても見える景色がまったく違います。「豊か」という言葉を使うなら、どちらの景色がより豊かか、言うまでもないでしょう。豊かに言葉を知ると、そうでない人と、同じことが人生についても言えます。もちろん、言葉の豊かさは数だけではありません。言葉は、確かにコミュニケーションの手段ですが、それ以上にその人のものの考え方やとらえ方を決める重要なものです。特に母語、今これを読む多くの人にとっての日本語、教科としては国語、それは皆さんの考える力、ものを見る力を支える大切なものです。私たちはそのことを念頭に国語の指導にあたっています。

まずはさまざまな文章に触れ、そこに表現された世界を正しく受け取る力を養います。身体は現実の制約を受けますが、言葉は時空を超え、実に多様な世界を見せてくれます。読書を大いに推奨します。そして、感じ考えたことを表現してみることです。効果的に表現する力を養いましょう。

表現しようとすることで考えがまとまることもよくあります。昌平では、他校にはないIBに基づく論述や発表のほか、ディベートやビブリオバトル(書評合戦)等の言語活動を活発に行います。漢字や語句の小テストはもちろん、大学受験に必要な古典分野も中学3年までに高校1年程度まで行います。様々な社会的・文化的事象への興味関心、論理的思考力、豊かな感情、表現力、正しい言語知識。要求されることはたくさんですが、それらは他ならぬあなたの人生を彩りのあるものにきざしてくれます。豊かな学びをしましょう。



## 数学

## MATHEMATICS

### 学びの極意 ～考え・楽しむ力の育成～

数学嫌いをなくし、好きになってもらう。さらに得意科目になるように、分かりやすく興味を持てる授業を展開します。生徒一人ひとりのレベルに合わせたきめ細やかな指導、実践的な演習問題を中心に、しっかりと基礎力を養成。中学3年の段階から高校の教科書の内容を積極的に取り入れていきます。誰が解いてもちゃんとした手順を踏めば理に適った結果が必ず得られ、かつ多くの事柄の確認が紙と鉛筆だけでできる面白さにあふれた教科、それが数学です。

そうした教科の特性を生かし、「こういう考え方をするとこうなる」「こんな工夫もできるんだ」と考えて勉強を楽しむ力を養ってほしいと考えています。また「何故そうなるのか?」が相手に伝わる形で記述することが伝える力にもつながります。昌平中学・高等学校では高校2年生までに数学の単元をほぼすべて終わらせ高校3年生からは大学入試対策をすることができます。考える授業を展開することで最難関大学の入試問題でも戦える真の思考力の育成を目指しています。



## 理科

## SCIENCE

### 暗記や詰め込みにならない、実生活に繋がる学習をします

理科は、「私たちの身近にある科学」を学ぶ教科です。ですから、学習内容に対する興味・関心こそが勉強する原動力になります。従って、中学では教室での授業だけではなく、実験や観察、自然に触れる機会を多く取り入れ、理科に対する興味関心の芽を育むことを重視しています。

特に実験においては、単に現象を観察するだけではなく、学年が上がるに従って、予想や仮説に基づいた実験の組み立てや、レポートの書き方といった指導も行っています。知識の詰め込みによる暗記科目にすることなく、興味関心を持たせ、現象やしぐみを理解することを重視しています。

また、学習内容に、身の回りで起きた科学に関するニュースなども取扱い、「学習した内容が実生活でどのように応用されているか」、「科学技術の利用が倫理的に許される範囲」などについて皆で意見を交え、様々な観点から追求します。昌平中学校では物理、化学、生物、地学の4分野について分かれて授業を行うため、より深い内容を学習することができます。さらに、演習の必要な物理、化学では、中学3年次後半から高校生内容を扱い、先取り学習を行っています。



## 社会

## SOCIAL STUDIES

### 自分の目で社会を見る姿勢を育てる

「世界」について考えるとき、あなたはどのような世界を想像するでしょうか。一言で世界と言っても、その捉え方は様々です。日本から見た世界、地図として捉える世界、一つの地球としての世界。どの視点から世界を見るのかによって、得られる情報は大きく異なります。しかし、その情報はどれも間違いではなく、それらを正しく認識し、受け入れる姿勢が重要となります。

本校の社会科は、「自分の目で社会を見る姿勢を育てる」ことを目的とした授業を行います。授業では、分析の際に必要な知識を習得することを第一に、時事問題など身近なテーマを取り上げていきます。その際、自分の中に生じた「なぜそうなるか」という疑問について考えることで思考力を育て、意見をまとめ表現することを促します。そして、仲間と議論をし、理解を深めていく中で、物事の本質を捉えるとともに、問題解決能力を身につけることを目指していきます。

今日の社会は日々刻々と変化しています。そうした変化にいち早く気づき、対応していく力が求められます。その変化を敏感に感じ取る感性を育てていきます。



# SCHOOL LIFE 昌平生の一日常

8:20

中学校専用のスクールバスが久喜駅、杉戸高野台駅から運行しています。学校まで直通なのでアクセスは抜群です。自宅に近い生徒は自転車通学もできます。



登校

8:55

エネルギー変換の授業の中で、限りある資源の大切さを学びます。持続可能な太陽光エネルギー・手動発電によるダイナモワイヤレスラジオを製作します。



第1時限目「技術」

10:55

国語は「演習」の授業でした。演習では正しい国語の知識や読解を身につけます。普段の自分の読解や語彙の選択が厳密でないことに気付かされます。



第3時限目「国語」

12:45

お弁当を持参する生徒がほとんどですが、売店でもお弁当やパンを買うことができます。



ランチタイム

14:30

その土地の産業や特色などをレポートにまとめ、クラスメイトに配り、発表をします。その後の質問に備え、不足のないレポートを作成し、的確な返答を心がけます。



第6時限目「社会」

17:55

最終下校は17:55です。スクールバスで久喜駅、杉戸高野台駅へ向います。友達と話しながらの下校。昌平の友達は「言いたいことが言える」仲間です。



最終下校

一日のスタートは / 朝読書



始業時間

8:40

朝読書は始業前10分の時間を使って、自分の好きな本を思い思いに読みます。毎日習慣づけることで、集中力、読み書きの能力、語彙力が身に付きます。



第2時限目「数学」

9:55

授業では、先生にただ教えてもらうだけでなく、グループや個人で考えることが多く、考える力が身に付きます。また、自分で問題を作ったり、解き方を説明します。



第4時限目「理科」

11:55

物理の授業では、放物運動についての考察と発表を行いました。数式を使うことで、自然現象を正確に捉えられることや、未来についての予測ができることを学びました。



第5時限目「体育」

13:30

午後の体育。本校の体育は人工芝の広いグラウンド、体育館、サブアリーナの各施設で様々な種目を思いっきり学び、楽しむことができます。

部活や部員会活動 / アクティブに活動



放課後

15:45

放課後はそれぞれの活動場所へ。人工芝のグラウンドでのサッカーをはじめ、体育館、サブアリーナ、理科室、日本語禁止部屋などでたくさん生徒が活動しています。

SHR	8:40 ~ 8:50
第1時限目	8:55 ~ 9:45
第2時限目	9:55 ~ 10:45
第3時限目	10:55 ~ 11:45
第4時限目	11:55 ~ 12:45
ランチタイム・昼休み	12:45 ~ 13:30
第5時限目	13:30 ~ 14:20
第6時限目	14:30 ~ 15:20
第7時限目(火・金)	15:45 ~ 16:35
放課後・部活動	
最終下校	17:55

## POINT

### フォーサイト

～自己管理能力を育み、自ら学び、考え、行動できる人づくり～

自らの行動に対して常に振り返り、改善して行動できる姿勢を養成します。今日することを自ら記入し、確認することで、「書く能力の伸長」・「規則正しい生活習慣の確立」・「自発的な家庭学習の定着」を涵養します。また、毎日の提出で担任よりアドバイスをもらい、「つまずきの早期発見」「次の指針の設定」を見つけ出すことができます。



## CLUBS

大きな可能性に  
チャレンジする部活動

### 運動部

- サッカー部(男子)
- バドミントン部(女子)
- バスケットボール部
- ダンス部
- 陸上部
- ラグビー部
- 硬式テニス部
- 剣道部

### 文化部

- 吹奏楽部
- 書道部
- 美術部
- 生物・化学部
- パソコン部
- 写真部
- 鉄道研究同好会
- 菓子研究部
- ESS部
- 囲碁・将棋部
- 華道部
- 英語学習クラブ
- 社会歴史研究部
- イラスト文芸同好会
- 茶道部
- クイズ研究同好会



# SCHOOL LIFE 年間行事



4

APRIL

- 入学式
- 始業式
- 対面式
- 体力測定
- 定期検診
- 校外模試
- 課題考査

5

MAY

- プリティッシュヒルズ 語学研修(希望者)
- 生徒総会
- PTA総会
- 中間考査
- 体育祭

6

JUNE

- 校外学習
- 第1回英語検定

7

JULY

- 期末考査
- 終業式
- 夏期講習
- 林間学校(1年)
- プリティッシュヒルズ 語学研修(2年)
- 三者面談
- ポキャブラリーコンテスト

8

AUGUST

- オーストラリア語学研修(希望者)
- ハーバード・サマースクール in SHOHEI
- 学習合宿(3年希望者)
- 夏期講習

9

SEPTEMBER

- 始業式
- 夏期課題考査
- 昌平祭
- 英語レシテーションコンテスト
- 避難訓練

10

OCTOBER

- 中間考査
- 第2回英語検定
- 生徒総会
- 校外模試
- 授業参観

11

NOVEMBER

- プリティッシュヒルズ 語学研修(1年)

12

DECEMBER

- 期末考査
- 球技大会
- 終業式
- 冬期講習
- GTEC
- ポキャブラリーコンテスト

1

JANUARY

- 始業式
- 校外模試
- 第3回英語検定

2

FEBRUARY

- 合唱コンクール
- スキー教室(2年)

3

MARCH

- 学年末考査
- 芸術鑑賞会
- 海外修学旅行(3年)
- コミュニティープロジェクト発表会(3年)
- 修了式
- 卒業式(3年)
- ポキャブラリーコンテスト
- 春期講習

POINT

## プログレスノート

校外学習など体験型プログラムを経験しノートに書き記すという取り組みです。林間学校で書き方などを学習し、一人ひとりがオリジナリティあふれるページを作成します。様々な行事や体験を書き記し、「調べる⇒記録する⇒振り返る」を継続することによって、生徒個々で、「自己の進歩」を確認することができます。



## VOICE

### 吹奏楽部の活動と勉強の両立で学校生活が充実しています

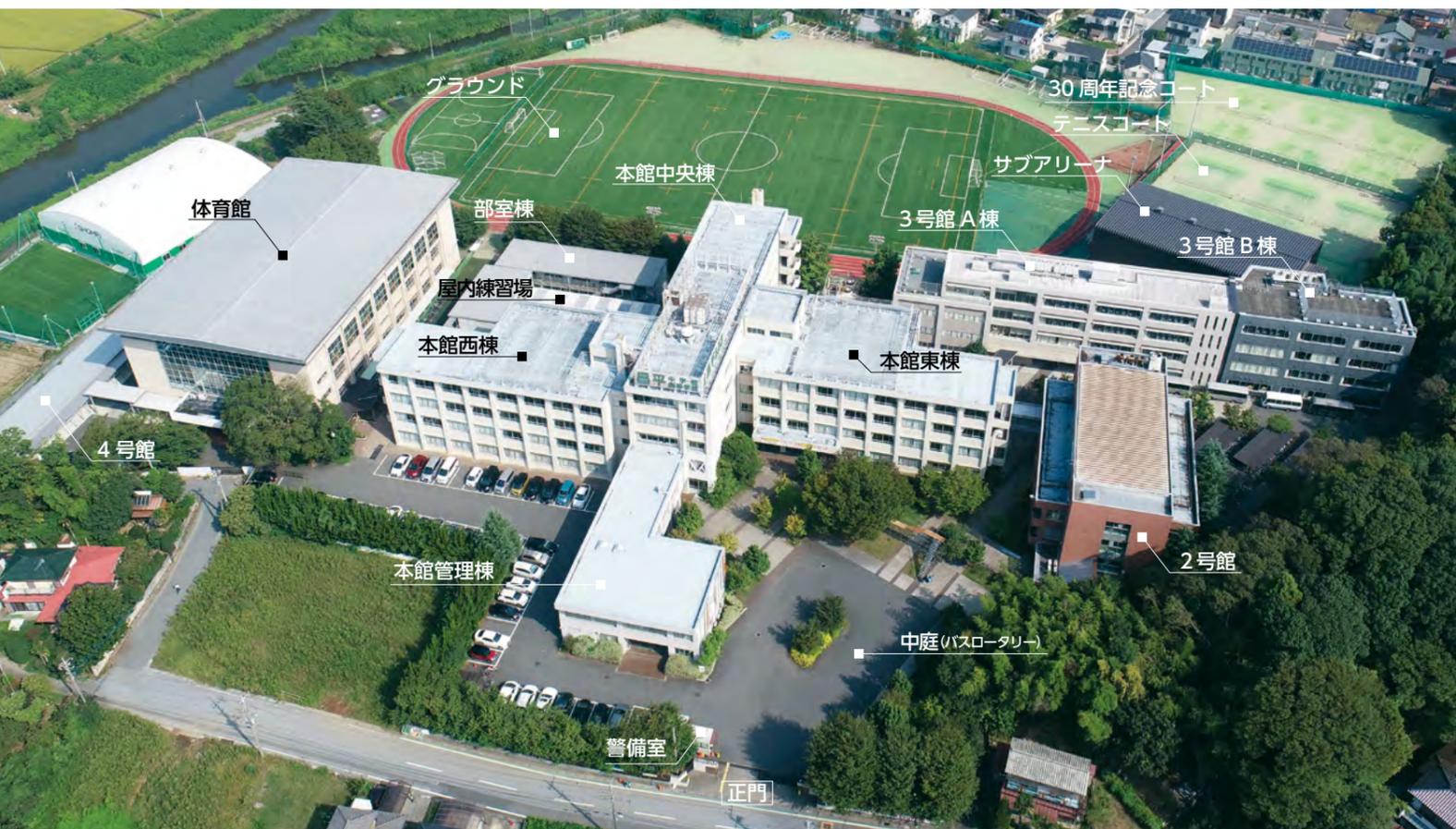
吹奏楽部でテナーサクソを担当しています。文化祭、体育祭、入学式、卒業式、学校説明会、さらには外部での演奏会など、日頃の練習の成果を発表する機会が多くあります。先日は県内の中高が集まる大きなステージで腕前を披露してきました。部の活動は週5と忙しいですが、勉強との両立にも頑張っています。個人的に学校行事で楽しいと思っているのは、毎年冬の『合唱コンクール』です。吹奏楽部でも歌のレッスンはありますが、クラスみんなの声为重なり合って、一つのハーモニーになる瞬間は感動的ですし、次こそは絶対に金賞を取りたいです！

中学3年生(中高一貫12期生)  
杉山 瑛さん



# SCHOOL LIFE

## 施設設備



3号館

中学校開校後に新築された校舎です。中学生や高校IBコースのHR教室、インターナショナルアリーナ等が主に配置されています。



サブアリーナ

中学校開校後に新設された第2体育館です。体育の授業や部活動、学年での集会等に使用します。



人工芝グラウンド

全面人工芝で400mのトラックはタータンが敷いてあります。泥だらけにならずに体育活動ができます。



教室

教室は白を基調に清潔感あふれるつくりになっています。全教室にプロジェクターが設備されています。



図書室

蔵書数は約3万冊、昼休みと放課後に開室しています。貸出しは1人3冊まで、期間は1週間となっています。



閲覧室

図書室前の閲覧室で書籍の閲覧ができることは当然ですが、自習スペースとしても活用されています。



体育館

2層式体育館で、1層目には剣道場・卓球場・トレーニングルーム、2層目が体育館となっています。



購買

文房具、制定学用品(制服・体育着・靴・鞆等)販売と、破損した制定学用品の修理を受付けています。



自習室1・2・3

朝・放課後の自学自習スペースとして自習室は1・2・3と3部屋用意してあります。特に日曜日、祝日、長期休業中などは、卒業生が自習室に常駐し、チューターとして在校生の質問に答えてくれます。



理科室

理科室1と理科室2は隣あった教室ですが、実験道具が物理・地学用と化学・生物用で異なります。



作法室

炉・床・水屋を備えた作法室は、茶道の師範を招いての茶道部の稽古場として使用されています。



進路資料室

進路資料室では全国の大学の情報を入手でき、隣の進路指導室では常駐教員が進路相談に対応します。



テニスコート

全面人工芝ですので体育の授業がし易く、天候に影響なくテニス部(硬式・軟式)の練習も可能です。



保健室

養護教諭3名が常駐し、生徒の健康を見守ります。学校生活で起こる、様々な怪我や病気に対処しています。

# SCHOOL LIFE 制服



1. WINTER



2. SUMMER



3. POLO SHIRT



4. COAT



5. GYM CLOTHES

## 1. フォーマル WINTER

男女共冬服は格調高い2ボタンのスーツスタイル。色は落ち着いたあるチャコールグレーです。ネクタイは、スクールカラーを基調とした落ち着いたあるグリーンです。女子はスラックス・スタイルもあります。

## 2. フォーマル SUMMER

通気性に富んだワイシャツとブラウス。女子にはライトグレーのベストとおしゃれで清潔なチェックスカートが用意されています。女子はスラックス・スタイルもあります。

## 3. ポロシャツ POLO SHIRT

ボタンダウンで襟元もきっちりしたスタイルです。袖にはオリジナルの刺繍が入ります。生地は、吸汗速乾機能で汗をかき夏場でも快適に着用できます。

## 4. コート COAT

ピーコートタイプのコート。すっきりしたシルエットとクラシカルなボタンが特徴です。

## 5. スポーツウェア GYM CLOTHES

全体的にグレーでまとめられたスポーツウェアはスタイリッシュなデザインです。半袖・半ズボンに吸汗速乾素材でさらっと着用でき、1年を通して快適です。

## MESSAGE

2010年4月1日の昌平中学校開校によって、昌平中学・高等学校がスタートし、13年目を迎えました。

「育てる」中学校3年間と、「鍛える」高校3年間を連結させた一貫教育の6年間は、文武両道を実現しながらそれぞれの将来の夢に向かって、たくましい人間力を養うための、かけがえのない時間。

人生の中でも重要なこの時期、子どもたちのみずみずしい感性に働きかけ、人として大きく成長していくための確かな土台を作ります。

本校は、世界を意識し、世界を理解する力を育成する取り組みを様々な角度から進めております。英語力はもちろん世界の文化や価値観の違いを理解し、広い視野を身につけ、将来の日本を発展させることができるグローバルな時代に対応できる人材を創ります。

主体的に「学ぶ」、自ら「考える」、自己を「表現できる」生徒を育て、豊かな成長に必要な手助けをすることが、学校と教師の役割です。「手をかけ 鍛えて 送り出す」をモットーとする昌平には、子どもたち一人ひとりの能力を引き出し最大限に伸ばすための力量を備えた教員が揃っています。

校長 城川 雅士

